令　和　7　年　6　月

保護者の皆様

京 都 市 保 健 福 祉 局
医 療 衛 生 推 進 室
医 療 衛 生 企 画 課 長
（担 当　健 康 危 機 対 策 担 当
ＴＥＬ　０７５－２２２－４２４４）

腸管出血性大腸菌感染症の感染予防について（依頼）

腸管出血性大腸菌感染症は、腸管出血性大腸菌で汚染された食べ物を摂取して感染することが多い感染症で、年間２０件～４０件程度の発生報告があります。

このため、京都市では、腸管出血性大腸菌感染症の発生が多い夏前に注意喚起を行っています。

皆様におかれましては、手洗いをはじめとした感染対策の徹底をお願いします。

腸管出血性大腸菌0157に注意！

・O157は下痢や腹痛など人に害を及ぼす大腸菌です。
・菌で汚染された食べ物や水、患者の便などから感染し、夏期に多く発生します。

✓食品は中心部まで十分加熱しましょう

✓帰宅時、食事の前、トイレの後、調理の前は、せっけんと流水で手をよく洗いましょう

✓発熱、おう吐、出血を伴う下痢などが見られたら、すぐに医療機関を受診しましょう